

第 184 回 材料学会岩石力学部門委員会 議事録

日 時：平成 19 年 2 月 1 日（木）13：30－17：30

場 所： 京都大学 桂キャンパス C クラスター C1-2 号棟 313 号室（会議室 2）
〒615-8246 京都市西京区京都大学桂 C クラスター

出席者（敬称略）：大西有三（委員長），石田 毅，上原真一（講演者），打田靖夫，菊地宏吉，
北川 隆，齋藤敏明，中井卓巳，畑 浩二，松岡俊文，村田澄彦，
山内淑人（講演者），笹尾春夫（幹事） 以上 13 名。

1. 講 演

(1) 「地下深部における第三紀堆積岩の水理特性に関する研究

—北海道幌延地域を例として—

京都大学工学研究科 都市環境工学専攻 ジオフロント環境工学講座 助手 上原 真一 氏

(2) 「美濃帯メランジュ中のトンネル施工」

鉄建建設(株) エンジニアリング本部 土木技術部 課長 笹尾 春夫 氏

(3) 「オーバーハング状岩塊の動的特性」

(財) 地域地盤環境研究所 九州地盤環境研究所 所長 山内 淑人 氏

2. 委員会報告・審議

(1) 第 183 回 岩石力学部門委員会 議事録（案）（資料 184-1）

笹尾幹事より説明，了承される。

(2) 企画事業委員会報告（資料 184-9）

村田委員より，第 385 回企画事業委員会の議事内容に関して関連部分を報告．関連の話題として，CPD に関して当委員会も CPD 付与の対象となるので登録する（笹尾幹事が担当）。

(3) 「材料」岩石力学特集号投稿状況資料

笹尾幹事より，応募状況について，投稿数が特集号成立要件を満たしていることを報告した．投稿者等については現在査読中のため現時点では非公開とする。

(4) 部門懇談会報告資料（資料 184-2）

笹尾幹事より，第 7 回部門懇談会議事録の説明があった。

(5) 会誌「材料」特集号の投稿から掲載までの期間短縮（資料 184-3）

笹尾幹事より，材料学会編集委員会より照会があった，「材料」掲載までの期間短縮について説明があった．当部門委員会では一ヶ月の期間短縮は問題無いとして編集委員会へ回答すること

にする。

(6) 第56期総会・学術講演会ならびに各種併設行事（資料184-4）

笹尾幹事より第56期学術講演会の開催と論文投稿募集の案内があった。締め切り日が迫っているため、当部門委員会会員に対して応募要請を行う。

(7) 印税収入（資料184-5）

笹尾幹事より印税収入について報告があった。「ロックメカニクス」（技報堂出版）288部の印税収入の内、80%の69,120円を委員会会計に充当する。

(8) 講演会の企画（資料184-6）

笹尾幹事より当部門委員会主催の講演会開催案の説明があった。審議の結果、講演会を開催する方向で検討する。なお、開催にあたり数人の運営WG（実行委員会）を立ち上げることで、また、具体的な企画については菊地委員にプログラム案を提案いただくことが了承された。

(9) 見学会（資料184-7）

今年度は4月5日（木）～6日（金）に波方LPG備蓄基地～倉敷LPG備蓄基地を見学する。行程については第2案の波方～（高松泊）～倉敷ルートとする。笹尾幹事より参加希望を各委員に問い合わせ、参加予定人数を把握する。

(10) 次期役員（資料184-8）

役員継続、交代について審議があった。

・理事、専門幹事

2期目の青木委員は退任とし、石田委員を新理事に推薦する。市川委員は継続とする。専門幹事の笹尾委員、村田委員は1期目であるため来期も継続とする。

・企画事業委員会委員

村田委員が継続する。

・編集担当委員

西山委員が継続する。

(11) その他

次々回委員会は下記の要領で開催する。

日時：2007年7月27日（金）14:00～

場所：京大会館（京都市左京区吉田河原町15-9）

講演者：3名を予定。

以上

- 資料 184-2 第 7 回部門懇談会議事録(案)
- 資料 184-3 会誌「材料」特集号の投稿から掲載までの期間短縮について
- 資料 184-4 第 5 6 期総会・学術講演会ならびに各種併設行事について
- 資料 184-5 印税収入報告
- 資料 184-6 岩石力学部門委員会主催の講演会開催案
- 資料 184-7 波方基地・倉敷基地見学ルート案
- 資料 184-8 委員役職一覧
- 資料 184-9 第 385 回企画事業委員会資料（目次）